

採血基準の見直しに伴う影響について

I. 採血基準の改正内容

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」(平成 23 年 3 月 11 日付け薬食発 0311 第 1 号厚生労働省医薬食品局長通知)により、採血基準が以下のとおり改正された(施行時期 平成 23 年 4 月 1 日)。

1. 健康診断の方法の見直し

- ・健康診断の方法から血液比重検査を削る。

2. 全血採血基準の見直し

(1) 共通

- ・血液比重に係る部分を削る。

(2) 200mL 全血採血

- ・男性に限り、献血可能な者の血色素量の下限値を「12g/dL」から「12.5g/dL」に引き上げる。

(3) 400mL 全血採血

- ・男性に限り、献血可能な者の年齢の下限を「18 歳」から「17 歳」に引き下げる。
- ・男性に限り、献血可能な者の血色素量の下限値を「12.5g/dL」から「13g/dL」に引き上げる。

3. 血小板成分採血基準の見直し

- ・男性に限り、献血可能な者の年齢の上限を「54 歳」から「69 歳」に引き上げる(65 歳から 69 歳までの者については、60 歳から 64 歳までの間に献血の経験がある者に限る。)

II. 採血基準の改正に伴う献血状況

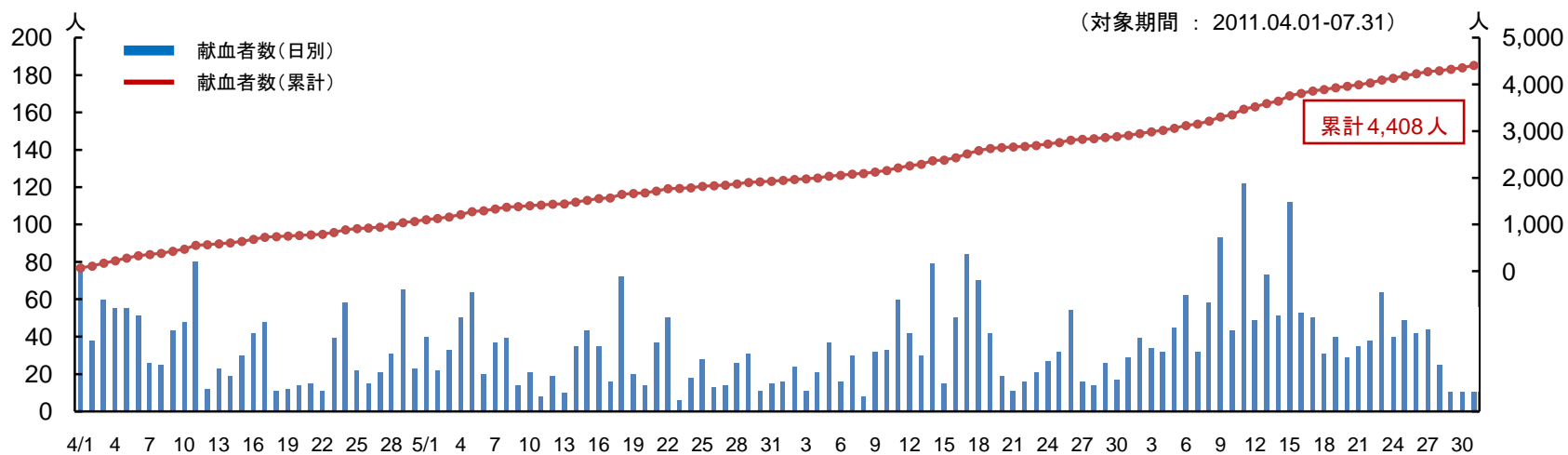
日本赤十字社では、平成23年4月1日から、改正された採血基準による献血受入を開始した。それに伴う献血の状況及び開始前後の広報展開について、以下のとおり概要を報告する。

なお献血状況の対象期間は、平成23年4月1日から平成23年7月31日までの4ヵ月間とした。

1. 400mL 献血者数(17歳男性)の推移

対象となる献血者数は4,408人であった。また、17歳男性全血献血者の合計は6,022人であり、400mL献血者数の構成比は73.2%であった(グラフ1)。今後、同様の協力状況が継続された場合、年間で約13,000人になるものと推定される。

(グラフ1)



(単位:人)

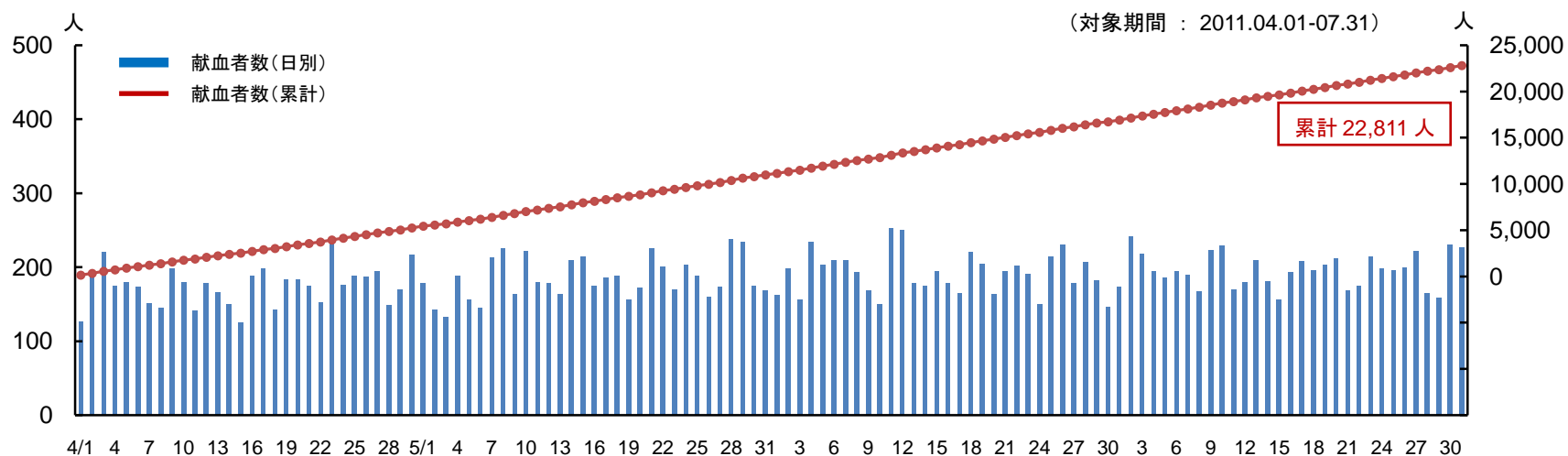
	200mL 献血	構成比	400mL 献血	構成比	計	構成比
平成22年度	4,604	100.0%	—	—	4,604	100.0%
平成23年度	1,614	26.8%	4,408	73.2%	6,022	100.0%

*4-7月(4ヵ月間)の比較

2. 血小板成分献血者数(55-69歳の男性)の推移

対象となる献血者数は 22,811 人であった。血小板成分献血者(男性)の合計は 219,917 人であり、55-69 歳男性の血小板成分献血者数の構成比は 10.4%であった(グラフ 2)。今後、同様の協力状況が継続された場合、年間で約 68,000 人になるものと推定される。

(グラフ 2)



(単位:人)

	18-54 歳	構成比	55-69 歳	構成比	計	構成比
平成 22 年度	210,007	100.0%	—	—	210,007	100.0%
平成 23 年度	197,106	89.6%	22,811	10.4%	219,917	100.0%

*4-7 月(2ヵ月間)の比較

3. 血色素量の下限値の引き上げにより献血できなかった方(男性)の推移

200mL 献血希望者 240 人については、血色素量の下限値の引き上げ(12.0g/dL → 12.5g/dL)により採血基準を満たしていないことから、献血ができなかった。

また、400mL 献血希望者 14,254 人については、血色素量の下限値の引き上げ(12.5g/dL → 13.0g/dL)により、12,922 人(献血希望者の90.7%)が献血できなかった状況である一方で、200mL 献血、血小板成分献血及び血漿成分献血での協力者は 1,332 人であった(献血希望者の9.3%)。

(単位:人)

血色素量 12.0-12.4	献血希望者*	献血できなかった方	献血協力者
200mL 献血	240	240	—

*血色素量の下限値の引き上げにより 200mL 全血採血基準を満たさない群

(単位:人)

血色素量 12.5-12.9	献血希望者*	献血できなかった方	400mL 献血以外での献血協力者			
			200mL 献血	血小板成分献血	血漿成分献血	計
400mL 献血	14,254	12,922	1,183	84	65	1,332

*血色素量の下限値の引き上げにより 400mL 全血採血基準を満たさない群

4. 広報展開

また、広報展開として、①テレビ CM の放映、②新聞 43 紙(全国紙 3 紙, 各地域で購読率の高い地方紙 36 紙, スポーツ紙全国版 4 紙 計 3,700 万部)への掲載、③ラジオ番組での周知、④ポスターの作製(B2 判 5,000 部, B3 判 5,000 部)、掲出、及び⑤日本赤十字社 HP への関連情報の掲載並びに各献血会場でのデジタルサイネージ(映像配信機器)を用いた周知等を実施した(参考)。

(参考 1)

I テレビ CM 放映(別添 1 参照)

1. 番組提供(全国放送)

放送局名	番組名	放送日	放送曜日	放送時間
日本テレビ	Going ! Sports&News	平成 23 年 3 月 5 日, 13 日, 19 日, 27 日	土, 日	23 時 55 分-24 時 35 分
TBS	激闘大家族 SP 東京下町5つ子ちゃん成長期 2011	平成 23 年 3 月 8 日	火	19 時 56 分-21 時 48 分
	世界進出バラエティー メイドイン JAPAN	平成 23 年 3 月 22 日	火	19 時 00 分-20 時 54 分
	紳助社長のプロデュース大作戦 SP	平成 23 年 3 月 29 日	火	19 時 00 分-20 時 54 分
フジテレビ	LIVE2010 すぽると!(土曜日)	平成 23 年 3 月 5 日, 19 日	土	24 時 15 分-25 時 05 分

*上記番組中に 30 秒の CM を 1 回又は 2 回放映したこと。

2. スポット放映

地 区	放送局名				
北海道	札幌テレビ	北海道放送	北海道文化放送	北海道テレビ	—
東 北	青森放送	青森テレビ	青森朝日放送	テレビ岩手	IBC 岩手放送
	岩手めんこいテレビ	岩手朝日テレビ	岩手朝日テレビ	宮城テレビ	東北放送
	仙台放送	東日本放送	秋田放送	秋田テレビ	秋田朝日放送
	山形放送	テレビユー山形	さくらんぼテレビ	山形テレビ	福島中央テレビ
	テレビユー福島	福島テレビ	福島放送	—	—

地 区	放送局名				
関東甲信越	日本テレビ	フジテレビジョン	テレビ新潟	新潟放送	新潟総合テレビ
	新潟テレビ 21	山梨放送	テレビ山梨	—	—
東海北陸	北日本放送	チューリップテレビ	富山テレビ	テレビ金沢	北陸放送
	石川テレビ	北陸朝日放送	福井放送	福井テレビ	テレビ信州
	信越放送	長野放送	長野朝日放送	静岡第一テレビ	静岡放送
	テレビ静岡	静岡朝日テレビ	中京テレビ	中部日本放送	東海テレビ
	メ〜テレ	—	—	—	—
近畿	讀賣テレビ	関西テレビ	—	—	—
中四国	日本海テレビ	山陰放送	山陰中央テレビ	西日本放送	山陽放送
	岡山放送	瀬戸内海放送	広島テレビ	中国放送	テレビ新広島
	広島ホームテレビ	山口放送	テレビ山口	山口朝日放送	四国放送
	南海放送	あいテレビ	テレビ愛媛	愛媛朝日テレビ	高知放送
	テレビ高知	高知さんさんテレビ	—	—	—
九州沖縄	福岡放送	RKB 毎日放送	テレビ西日本	九州朝日放送	サガテレビ
	長崎国際テレビ	長崎放送	テレビ長崎	長崎文化放送	熊本県民テレビ
	熊本放送	テレビ熊本	熊本朝日放送	テレビ大分	大分放送
	大分朝日放送	宮崎放送	テレビ宮崎	鹿児島読売テレビ	南日本放送
	鹿児島テレビ	鹿児島放送	琉球放送	沖縄テレビ	琉球朝日放送

*各放送局の空き時間帯に放映を依頼したこと(平成 23 年 3 月 18 日から 31 日までの間)。

II 新聞広告掲載(別添 2 参照)

1. 掲載紙

全国紙(読売新聞・朝日新聞・日本経済新聞)3 紙・地方主要紙 36 紙・全国版スポーツ新聞(スポーツ報知・日刊スポーツ・スポニチ・サンケイスポーツ)4 紙の合計 43 紙 合計 約 3,700 万部

2. 掲載規格

全 5 段モノクロ

3. 掲載日

平成 23 年 3 月 1 日から 31 日までの間 各紙 1 回

III ラジオ番組での告知

JFN38 局ネットにより毎週月曜日から金曜日の午前 6 時 30 分から 10 分間放送している「LOVE in Action」において、逐次、採血基準の一部改正に係る情報を提供したこと。

IV ポスター製作及び配布等

採血基準の一部改正に係るポスター(別添 3 参照)を 1 万部(B2 判 5,000 枚、B3 判 5,000 枚)、A4 判クリアファイル(別添 4 参照)を 40 万部(A4 判)、各々製作して各血液センターに配布するとともに、各献血ルームに整備してあるデジタルサイネージ(映像配信機器)においてもポスター情報を掲出したこと。

また、献血推進団体等に配布することを目的に、当該採血基準の一部改正に係るリーフレット(別添 5 参照)を制作し、より詳細な情報の周知を図ったこと。さらに、献血 Walker(一般国民向け献血推進小冊子)に関連記事を掲載したこと(別添 6 参照)。

別添 3(ポスター)

献血にご協力いただける皆様へ
平成23年4月1日から

年齢条件などの採血基準が一部改正になります。

〔改正内容〕

- 献血にご協力いただける方の年齢の拡大
 (1) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の年齢の下限を「18歳」から「17歳」に引き下げます。
 (2) 男性に限り、血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を「54歳」から「69歳」に引き上げます。
*65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。
- 血色素量(ヘモグロビン濃度)*の下限値の引上げ
 (1) 男性に限り、200mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12g/dL」から「12.5g/dL」に引き上げます。
 (2) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12.5g/dL」から「13g/dL」に引き上げます。
*血色素量(ヘモグロビン濃度)は血液中の赤血球の濃さを意味しています。

項目	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血小板成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (献血者1人につき1回)	400mL以下
年齢	16歳～69歳*	男性17歳～69歳* 女性15歳～69歳*	18歳～69歳*	男性18歳～69歳* 女性16歳～64歳*
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男性20kg以上 女性15kg以上	男性45kg以上	女性40kg以上
血圧	90mmHg以上			
血色素量	男性12.5g/dL以上 女性12g/dL以上	男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上	12g/dL以上 (献血者1人につき1回)	12g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/dL以上 60万/dL以下
年間献血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回2回分に換算して 血液成分献血に合計72回以内	—
年間献血献血量	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内	—	—	—

*65歳～69歳までの方は、60歳～64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

— 平成23年4月1日から「閉鎖書」が改正されます —
 献血にご協力いただける方には、献血に際していただく献血者登録などの手続きが簡便になり、皆様におかれましては、
 ご協力いただけるように、受付時間(平日14時～)から(23時)までになります。閉鎖書、献血とご協力の方の健康を守るため、そして
 血液を全量としている献血者から採血するなどの献血が実現されることになっておりますので、皆様にご協力をお願いいたします。

詳しくは日本赤十字社のホームページへ!
 www.jrc.or.jp

▲ 肝臓ウイルス・エイズウイルスなど、感染症の疑いがある方は、絶対に献血しないでください。



人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

別添 4(クリアファイル)

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



ぼくらも、いのちの、助けになれる。
— 石川 遼

LOVE in Action <http://ken-love.jp>

(参考2)

1. 男性400mL献血年齢引き下げ(18歳→17歳)による影響

(平成23年4月～7月)

表1. 献血者数

献血者合計

	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
計	19,461	837,681	857,142	114,788	254,390	369,178	1,226,320

16～18歳

年齢	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
16	3,856		3,856	4,692		4,692	8,548
17	1,614	4,408	6,022	6,146		6,146	12,168
18	1,140	20,170	21,310	5,373	7,792	13,165	34,475
計	6,610	24,578	31,188	16,211	7,792	24,003	55,191

表2. VVR発生数

献血者合計

	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
計	225	5,666	5,891	775	3,017	3,792	9,683

16～18歳

年齢	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
16	39		39	54		54	93
17	16	88	104	62		62	166
18	29	529	558	89	297	386	944
計	84	617	701	205	297	502	1,203

表3. VVR発生率

献血者合計

	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
計	1.16%	0.68%	0.69%	0.68%	1.19%	1.03%	0.79%

16～18歳

年齢	男性			女性			計
	200	400	小計	200	400	小計	
16	1.01%		1.01%	1.15%		1.15%	1.09%
17	0.99%	2.00%	1.73%	1.01%		1.01%	1.36%
18	2.54%	2.62%	2.62%	1.66%	3.81%	2.93%	2.74%
計	1.27%	2.51%	2.25%	1.26%	3.81%	2.09%	2.18%

2. 男性血小板献血の年齢引き上げ(54歳→69歳)による影響

(平成23年4月～7月)

表1. 献血者数

献血者合計

	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
計	136,397	210,006	346,403	134,429	480,832

年齢	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
55	2,187	3,516	5,703	1,485	7,188
56	2,014	3,195	5,209	1,343	6,552
57	1,991	2,557	4,548	1,370	5,918
58	1,931	2,233	4,164	1,271	5,435
59	1,663	1,846	3,509	1,123	4,632
60	1,763	1,829	3,592	1,063	4,655
61	1,889	1,752	3,641	1,144	4,785
62	1,888	1,515	3,403	1,056	4,459
63	1,733	1,367	3,100	943	4,043
64	1,283	837	2,120	746	2,866
65	694	489	1,183	429	1,612
66	896	496	1,392	401	1,793
67	1,078	458	1,536	491	2,027
68	1,169	377	1,546	487	2,033
69	1,258	344	1,602	501	2,103
計	23,437	22,811	46,248	13,853	60,101

表2. VVR発生数

献血者合計

	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
計	303	739	1,042	1,484	2,526

年齢	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
55	5	7	12	10	22
56	4	12	16	13	29
57	4	13	17	12	29
58	2	11	13	12	25
59	2	3	5	15	20
60	1	1	2	12	14
61	3	3	6	10	16
62	6	4	10	11	21
63	3	6	9	12	21
64	1	2	3	8	11
65	1	2	3	2	5
66	1	0	1	5	6
67	1	2	3	0	3
68	1	1	2	5	7
69	1	1	2	6	8
総計	36	68	104	133	237

表3. VVR発生率

献血者合計

	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
計	0.22%	0.35%	0.30%	1.10%	0.53%

年齢	男性			女性	計
	PPP	PC	小計	PPP	
55	0.23%	0.20%	0.21%	0.67%	0.31%
56	0.20%	0.38%	0.31%	0.97%	0.44%
57	0.20%	0.51%	0.37%	0.88%	0.49%
58	0.10%	0.49%	0.31%	0.94%	0.46%
59	0.12%	0.16%	0.14%	1.34%	0.43%
60	0.06%	0.05%	0.06%	1.13%	0.30%
61	0.16%	0.17%	0.16%	0.87%	0.33%
62	0.32%	0.26%	0.29%	1.04%	0.47%
63	0.17%	0.44%	0.29%	1.27%	0.52%
64	0.08%	0.24%	0.14%	1.07%	0.38%
65	0.14%	0.41%	0.25%	0.47%	0.31%
66	0.11%	0.00%	0.07%	1.25%	0.33%
67	0.09%	0.44%	0.20%	0.00%	0.15%
68	0.09%	0.27%	0.13%	1.03%	0.34%
69	0.08%	0.29%	0.12%	1.20%	0.38%
計	0.15%	0.30%	0.22%	0.96%	0.39%